

# 「AI4S対応GPUテストベッド」の整備

## ◆ GPU整備計画のポイント

- 運用中スパコン「Grand Chariot 2」の強化  
→ AI向けハイエンドGPUの増強 (32GPU)
- 既存設備の活用  
(例：遠隔バックアップ付きオールSSDストレージ)



運用中のスーパーコンピュータ Grand Chariot 2  
左：CPUノード群  
中：GPUノード群  
右：オールSSDストレージ

## ◆ 利用者への資源提供

- HPCI資源として提供 (28GPU年、2027年度4月から提供)
- 占有利用形式で提供 (課題当たり1~4GPU)  
→ 支援系/自律系のAI4S研究 (例：実験や観測との連携) が主なターゲット

## ◆ AI for Science 推進に向けた取り組み

- 知識生成基盤研究部門 (2025年度新設) の教員を中心としたAI関連技術支援
- 北海道大学J-PEAKSにおける農林水産・フィールド科学分野を中心とした活用や連携  
(J-PEAKS Webページ：<https://j-peaks.cris.hokudai.ac.jp/>)
- 他の採択機関 (東京大学、筑波大学、九州大学) と連携した取り組み (運用面含む)

※数量やスケジュール等は計画段階の内容であり、今後変更となる可能性があります。